

渋沢栄一と「フィランソロピー」 4巻 出版記念 学術シンポジウム

官民を超えた 渋沢栄一の福祉実践



経済発展を通じた、豊かな国づくりを目指した渋沢栄一は、それに伴って発生する格差、増大する貧困者の救済を忘れはしなかった。それが、社会福祉事業への深い関わりに繋がる。

渋沢の福祉実践は、欧米からの新知識と日本で蓄積されてきた考えに基づいて行われたが、本シンポジウムでは、イギリスから得た知と、日本の前近代社会の状況とを踏まえ、渋沢がどのような福祉実践をしたのか、その思想を考察する。

日時 2025年2月20日(木) 14:00~16:00 (受付開始13:30)

会場 国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール 参加費 無料 定員 50名 締切 2025年2月17日(月)

お申込み 要事前申込み、渋沢栄一記念財団ウェブサイトよりお申込みください

ウェブサイト <https://www.shibusawa.or.jp>

トップページ ▶ 研究センター ▶ 企画・セミナー等情報

▶ 学術シンポジウム 官民を超えた渋沢栄一の福祉実践



報告1 日本の前近代からの継承 近代化進展のなかでの渋沢の福祉実践と思想 山本 浩史 新見公立大学教授

報告2 欧米からの新知識 近代イギリスのフィランソロピーの一断面 坂下 史 東京女子大学教授

コメント1 TAO BO 千葉大学講師

コメント2 杉山 里枝 國學院大學教授

お問合せ先 公益財団法人 渋沢栄一記念財団 研究センター 学術シンポジウム係

メール event0012@shibusawa.or.jp

対応日 火~土、10:00~17:00 ※日、月、祝日休み、月曜日が祝祭日の場合、翌日はお休みになります。

主催

公益財団法人 渋沢栄一記念財団



掲載資料 渋沢栄一 (古希) 渋沢史料館所蔵

総合司会

加藤 愛子 公益財団法人渋沢栄一記念財団 研究センター

シンポジウム司会

見城 悌治 千葉大学教授

14:00~14:10

開会挨拶・趣旨説明

井上 潤 公益財団法人渋沢栄一記念財団業務執行理事

14:10~14:30

報告1

日本の前近代からの継承

近代化進展のなかでの渋沢の福祉実践と思想

山本 浩史 新見公立大学教授

14:30~14:50

報告2

欧米からの新知識

近代イギリスのフィランソロピーの一断面

坂下 史 東京女子大学教授

14:50~15:00

休憩

15:00~15:15

コメント1

TAO BO 千葉大学講師

15:15~15:30

コメント2

杉山 里枝 國學院大學教授

15:30~15:35

レイアウト変更

15:35~15:55

全体討論・質疑応答

進行：見城 悌治 千葉大学教授

15:55~16:00

閉会挨拶

樺山 紘一 公益財団法人渋沢栄一記念財団理事長



国際文化会館
岩崎小彌太記念ホール
〒106-0032
東京都港区六本木 5-11-16

- ▶都営大江戸線 麻布十番駅 7番出口より徒歩5分(上り急勾配あり)
- ▶東京メトロ南北線 麻布十番駅 4番出口より徒歩8分(上り急勾配あり)
- ▶東京メトロ日比谷線 六本木駅 3番出口より徒歩10分

注意事項

- 本シンポジウムは、申込み受付から参加に必要な情報のご連絡まで、全てメールでご案内しております。そのため、メールをお送りした後、リターンメール(エラーメール)がなければ、申込者へメールが届いているものとみなさせていただきます。お手数ですが、迷惑メール等の設定をされている方は、あらかじめ受信許可の設定をした上で申込みいただきますようお願いいたします。
- 申込みフォームに入力いただいた情報は本シンポジウムに関するご連絡のために使用させていただくほか、今後のセミナー開催や当財団のサービス案内の配信のために使用させていただくことがあります。
- 当日、会場にて動画・写真を撮影し、財団ウェブサイト及び財団機関誌「青淵」に一部講演内容を掲載する予定です。予めご了承ください。

渋沢栄一と「フィランソロピー」シリーズ

近代日本を代表する実業家としてよく知られている渋沢栄一が、約600にも及ぶ公益慈善事業(団体)に貢献してきたことは、一般的にあまりよく知られていません。そこで本シリーズは、渋沢の「フィランソロピー」活動を8つの視点(漢学、婦人協会、地域振興、国際交流、教育、宗教、福祉、文化)から多角的に分析することで、渋沢の「フィランソロピー」活動の全体像を把握し、思想を重層的に理解することを目指しました。

渋沢史料館オンラインショップにて1巻~7巻好評発売中です!

ウェブサイト

<https://www.shibusawa.or.jp/shop>

